

花きの県別生産出荷概況(7月見通し)

令和4年6月30日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		7月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数 千本 (前年比)	京浜地域向 千本 (前年比)	上旬	中旬	下旬		
バラ	青森		サムライ アバランジェ	周年 (7~8月)	0.50 (100%)	200 (97%)	172 (97%)	30	30	40	JA津軽みらい	【津軽地区】 5月下旬からの低温の影響で生育は遅れ気味だったが、6月に入り気温が上がっていることから、平年並みの7月下旬から8月上旬にかけて出荷ピークとなる見込み。
	茨城	施設	サムライ アバランジェ エクレール等	周年	1.5 (100%)	-	-	50	30	20	古河市 石岡市 茨城町等	・生育は平年並み。 ・病害虫による大きな影響は特になし。
	群馬	施設 (周年)	アヴァランジェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	11.5 (98%)	900 (100%)	620 (100%)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和	各産地生育は順調であり、平年並みの出荷量を見込む。昭和村(中山間地)からの出荷も本格化するため、県全体の出荷量は潤沢となる。一部うどん粉病が散見されるが、特に問題となっていない。
	静岡	周年	サムライ オール4ラブ ベイブ シンディ	周年 (4~6月)	1.3 (96%)	850 (100%)	650 (100%)	40	30	30	JA掛川市 JAしみず JA大井川 JA静岡市	減少する産地が多い見込みのため徐々に減っていく見通し。改植作業は終了する産地と改植中の産地があるが概ね順調。
アメリカストロ	青森	周年	オルカ アルーラ ピンクサフライス*	周年 (5~8月)	2.01 (105%)	1,044 (107%)	763 (107%)	30	30	40	JA津軽みらい JAつがる弘前	【津軽地区】 5月下旬からの低温と曇天の影響から一部で生育が緩慢となっているものの、6月中旬から天候が回復したことから7月から8月にかけて出荷は増加する見込み。

花きの県別生産出荷概況(7月見通し)

令和4年6月30日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		7月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
				期間		出荷総数 千本	京浜地域向 千本	上旬	中旬	下旬		
				(ピーク)	(前年比)							
トルコキキョウ	青森		ホクトセイ ボヤージュ ロジーナ	6月～11月 (9月)	4.80 (100%)	862 (105%)	566 (105%)	20	30	50	JAつがるにしきた JA津軽みらい JA八戸	【津軽地区】3月定植分は6月下旬から出荷開始見込みだが、6月上旬の低温により、やや生育が遅れ気味。 【県南地区】概ね順調。例年並みに7月下旬から出荷開始見込み。
	千葉	施設		4～8月 10～12月 (6～7月,11月)	7.7 (100%)	475 (95%)	320 (95%)	35	35	30	館山市 鴨川市 南房総市(丸山・千倉) 芝山町	生育については、順調だが今後の天候によっては出荷ピークが後退する可能性がある。 品種については、6月に引き続き多品種が出荷される見込みで、覆輪品種が6月下旬から出荷予定。その他、白やピンク色のものが継続して出荷される見込み。
	長野	夏秋	ハピネスホワイト クラリスピンク コレゾシリーズ レイナシリーズ	7～9月 8月上旬		950 (110%)	350 (110%)	0.25	0.4	0.35	信州諏訪 上伊那 信州うえだ 佐久浅間	6/中より出荷スタート。昨年と比較すると1週間程度遅れている。おおむね生育順調であり、8月盆需要に向けて徐々にペースアップしていく。昨年並みの出荷を見込んでいる。
	茨城	促成施設	ボヤージュ系 レイナ系 マキア等	10～6月 (6月)	1 (100%)	-	-	50	30	20	水戸市等	・生育は平年並み。 ・病害虫による大きな影響は特になし。
	群馬	施設(周年)	ロジーナ系 ミンク系 パレオ系 ほか	周年 (6～11月)	5.7 (100%)	145 (103%)	86 (103%)	33	33	33	昭和 富岡市	7月以降は利根沼田地域(昭和村、沼田市)に主産地が切替わる。昨年は生育不良で少なかったが、今年は生育も順調で平年並みの出荷量が見込まれる。
	大分	施設	ボレロW ラズリーBF 渚 マカナライトP	周年 (5,12月)	2 (100%)	20 (118%)	10	40	40	20	佐伯 杵築 玖珠	2番花が遅れていた分が7月まで若干量ずれ込みそう。 玖珠も出荷が始まり、出荷が増えてくる。

花きの市場別販売概況(7月見通し)

令和4年6月30日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	山形などの高冷地をはじめ、入荷数量が増えたことで、先月まで品薄単価高傾向が続いていたが、受給バランスに応じた単価に落ち着く。湿度の上昇に伴い、品質不良が生じやすくなるため、慎重に販売。父の日の前週には黄色やオレンジなどの引き合いが高まる(大田)。山形・宮城など高冷地入荷開始。輸入はやや昨年に比べると少なめ(FAJ)。天候不順により、入荷は引き続き少ない。業務が昨年・一昨年より戻りつつあるが、弱保合(世田谷)。各産地潤沢な入荷だが、天候不順による生育不良と昨今のご時勢で生産出荷コストが上がっており、一度に多くの数量が出にくい(東日本板橋花き)。	
	見通し	大田花き	入荷の主体は西南暖地から山形、宮城、青森などの高冷地に切り替わる。西南暖地の改植が進むため、注文対応出来ない品種も出てくる。輸入品は、引き続き社会情勢のため、少量入荷となる。
		FAJ	産地切替わり。西南暖地出荷継続も数量は高冷地に。昨年同程度の入荷を予定。
		世田谷花き	山形・長野県などの高冷地産中心となる。引き合いは弱い。
		東日本板橋花き	山形等東北産地メインの入荷。しばらくはこれといった需要が無く、夏場の猛暑予測で日持ちのしないバラは小売りの積極的な仕入れはしなくなり、良い品物の引き合いはあるが咲き足の早い下位等級の販売は厳しくなる見込み。
アルストロメリア	現状	愛知・山形・長野中心に、曇天・低温もあり、数量は少ない状況。葬儀の問い合わせ多く、引き合いは強い。中旬より、北海道が増加したが、全体として出荷量は減少していった(大田)。愛知・長野・山形より入荷。安定したロットでの入荷引き合いも強く相場も安定(FAJ)。長野産が、例年通り減少。北海道産のスタートが少なく、全体的にやや少ない。下旬に向けて回復(世田谷)。愛知・青森・北海道中心の入荷。昨年より少ない入荷(東日本板橋花き)。	
	見通し	大田花き	北海道中心に数量は増加。また、夏用の出荷がメインの産地も、白・ピンク中心に増加し、葬儀中心の引き合い。オレンジ・紫・赤の数量は少ない見込み。
		FAJ	北海道・愛知・山形・長野より入荷。昨年と同程度の入荷を予想。
		世田谷花き	入荷横ばい。引き合い変わらず。
		東日本板橋花き	愛知・青森・北海道中心の入荷。昨年並みの出荷量の予定だが天候次第で入荷増減あり。
トルコギキョウ	現状	上旬は、熊本、福岡、愛知、静岡と暖地の2番花が数量増加。引き合いは鈍く、低調な相場となった。千葉、福島、長野は低温の影響から生育、出荷が遅れ数量は昨年より少ない(大田)。福島など高冷地出荷開始も主力は栃木熊本。ロットのまとまった入荷続くも安定した販売(FAJ)。西南暖地の2番花は順次切り上がり、長野・福島などの高冷地は燃料費の高騰の影響で、開花遅れており、流通量少なめ(世田谷)。低温により開花せず入荷量がかなり少ない状況(東日本板橋花き)。	
	見通し	大田花き	出荷が遅れていた長野、福島、千葉の数量が纏まってくる。出荷産地も増え、中旬に向けて数量は増加傾向となる。
		FAJ	長野・福島など入荷の中心は高冷地に。平年並みの入荷数量を予定。
		世田谷花き	下旬になると、高冷地産の出荷が一斉に増えると思われる。
		東日本板橋花き	お天気次第で増減あり。長野や千葉・東北中心の入荷。
りんどう	現状	栃木は昨年に比べて10日遅れ、岩手・秋田は1週間程の遅れが見られた。月末より各産地増加傾向となるため、7月盆向けには丁度良い出荷となる(大田)。やや遅いスタートも、下旬に向けて増量。小輪系等、品種多い(世田谷)。	
	見通し	大田花き	7月盆に向けて栃木がピークを迎え、他県もやや遅れもあるが昨年並みにピークとなり、各産地より出荷が出揃う見込み。
		FAJ	栃木・長野から始まり秋田・岩手入荷予定。昨年同程度の入荷を予定。
		世田谷花き	東京盆に向けて、増加傾向。相場上がる。